

第4問

(1) 下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適当と思われるものを選び、答案紙の（ ）の中に記号で解答すること。

1. 材料2,400,000円の購入に際して、購入代価の5%を材料副費として予定配賦している。材料副費の実際発生額は130,000円であったので、予定配賦額との差額を材料副費差異勘定に振り替える。

- | | | |
|--------|-----------|----------|
| ア. 材料 | イ. 材料副費差異 | ウ. 材料副費 |
| エ. 仕掛品 | オ. 買掛金 | カ. 製造間接費 |

2. 当月の賃金の消費額を計上する。直接工の作業時間報告書によれば、直接作業時間は1,760時間、間接作業時間は50時間であった。当工場において適用される直接工の予定賃率は、1時間当たり1,400円である。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| ア. 賃金・給料 | イ. 現金 | ウ. 製造間接費 |
| エ. 仕掛品 | オ. 賃率差異 | カ. 製品 |

3. 外注加工賃の支払高をもって消費高を計上する。外注業者から加工品を受け入れ、請求書によると外注加工賃は500,000円であった。なお、素材2,500,000円を無償で外注業者に引き渡していた。

- | | | |
|--------|----------|----------|
| ア. 材料 | イ. 買掛金 | ウ. 製品 |
| エ. 仕掛品 | オ. 賃金・給料 | カ. 製造間接費 |